

神戸異人館街 防火対策 - 西日本防災システム

2013 04 23

神戸 北野の異人館街の伝統的建造物「旧グラシアニ邸」で昨年発生した**放火事件**を受けて、対策を検討していた神戸市教委は4月23日、同地区の防災計画を発表しました。スプリンクラーなど防災設備の充実などを盛り込んでいて、市教委文化財課は「設置の義務化は出来ないが、防災力向上のために補助も検討したい」と話しているそうです。

異人館街は全体で約9・3ヘクタールあります。1980年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されましたが、道が狭く傾斜が急で消防車が入りづらく、大半が木造で耐火性能が低いという不安点が指摘されていました。

このため防災計画には、地域住民による初期消火体制の確立のほか、防火設備の充実などが盛り込まれています。

市の調査では、市認定の伝統的建造物にスプリンクラーが設置されていないなど、防火対策の遅れが目立ちました。住宅として使用される建物には自動火災報知器が設置されていないなど、消防法で報知器設置を義務づけられている指定文化財との違いが明白となりました。

伝統的建造物40棟中37棟が民間の所有で、保存義務は外部のみのため、内装を防火性能の高い土塗りやしっくいから木材に取り替えたケースもあったようです。同課は「補修相談の際などに設備の充実などについて伝え、連携して進めたい」と説明しています。**弊社も近いですから、頑張りまーす！**

貴重な建造物を無傷で後世に伝えてゆきたいものです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

